



明学だより

第 39 号

令和7年12月



校外学習 大阪・関西万博博覧会



体育祭 男子集団演技



近畿児童自立支援施設駅伝競走大会



兵庫県児童福祉施設卓球大会 優勝



兵庫県下児童福祉施設入所児童
バレーボール大会 優勝



男子野球部



体育祭 女子集団演技



修学旅行（沖縄県）

朝晩の寒さも日に日に増し、冬らしい季節となりました。今年もあと残すところ数日。
「1年あったという間だったなあ」という声もちらほらと聞こえてきます。

さて、今回明学だより第39号を発行させていただく運びとなりました。第39号では、中学3年生の修学旅行、そして11月に行われました学園祭について、大きく取り上げています。また、これまでの明学だよりとは少し違い、こどもたちの生の声を取り上げました。ぜひ、ご一読ください。

表紙には、この1年間こどもたちが日々成長する姿をクラブや行事の写真を通じて紹介させていただいております。ぜひお子様と今年の学園生活を振り返っていただければ幸いです。

修学旅行 in 沖縄

10月27日から29日の2泊3日、中学3年生は修学旅行へ行きました。沖縄での思い出、こどもたちの声を紹介します♪



沖縄川柳

修学旅行の思い出をいっぱい詰め込んだころの一句を紹介します。この寒い時期ではありますが、みなさんもこどもたちのころの一句を読んで温まりますように。

木葉寮 Kさんのころの一句

じんべえや 大きな海へ メンソーレ



白梅寮 Aさんのころの一句

飛行機で 透き通る海 胸騒ぐ



さくら寮 Iさんのころの一句

サンゴ礁 波にさそわれ 青い海



葵寮 Sさんのころの一句

資料館 こわいおもいを していた絵



次は、修学旅行の思い出。こどもたち一人ひとりに沖縄で感じたことを文章にしてもらいました。写真も合わせて楽しんでいただけたらと思います。



ひめゆりの塔や平和記念公園、首里城、あざまサンサンビーチに行きました。ひめゆり平和記念資料館や平和記念公園が語る沖縄戦の悲惨さは、私たちに大きなショックを与え、平和な日々を送れていることがどれだけ幸せなことかを教えてくれました。私たちは何かを失ってからそれが幸せだったと初めて気付きます。でも、私たちは、平和学習を通して、今の幸せに気付くことができました。

紅葉寮 Hさん

沖縄修学旅行2日目。「CAVE OKINAWA」と嘉数高台公園に行きました。ここは、自然にできた鍾乳洞がライトアップされ、とてもきれいでした。水の流れる音が鍾乳洞の中に響き、とても癒されました。嘉数高台公園ではオスプレイが飛んでいるところを見ることができました。そこで当時使われていた「がま」を見学しました。沖縄の自然と歴史がとても分かった日でした。

木葉寮 Jさん



沖縄に行って3日目、国際通りに行ってみてみんなと楽しく色々なお店に回ったりしました。また沖縄ならではの紅イモタルトを作っているところなども見ることができたので、とても印象に残りました。沖縄での最後の生活はとても楽しく、また行きたいなという思いで飛行機に乗って帰ってきたので、とてもいい勉強や思い出作りができたと思います。3日間とても楽しかったです。

白梅寮 Fさん



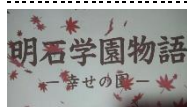
学園祭

11月12日、学園祭が行われました。学園祭では各学年の発表と、全生徒による合唱、手話を披露しました。

明石学園の学園祭は、学園三大行事と言われるほど大きな行事で、日頃学園生活や学校授業を頑張るこどもたちの発表の場でもあります。

今年度は約200名の来園者を迎え、多くの人にこどもたちの成長を見てもらうことができました。ご来園いただきました皆様、ありがとうございました。

ここからは、各発表で感じたこどもたちの感想を紹介します。



ぼくが、学園祭で「はるか」の役を朗読している時に思ったことは、白髭先生という、こんないい人に会えたのに、お別れしちゃうのがすごくはるかにとって悲しいと思いました。ぼくは、こんなに悲しい物語を読むのは、初めてでした。この物語は、一生忘れない思い出になりました。

小学部 Hさん(さくら寮)

僕は学園祭を通して学んだことや嬉しかったことがあります。学んだことは、発表は大きな口ではっきりと言わないと聞こえないことを知りました。今まではあまり声を出さなくても聞こえると思っていたけれど、今は普通の声じゃ聞こえないのでしっかりと出して行きたいです。次に嬉しかったことは、お客さんに喜んでもらえたことです。人に喜んでもらえると、自分の気持ちもほっとして嬉しかったです。

行事発表 Oさん(白梅寮)



僕は学園祭でももたろうを古文にして劇をしました。僕はももたろう役をしました。最初段ボールのももを持って登場する瞬間がとてもドキドキして、大きな声でセリフを言うのが楽しかったです。またスペシャルゲストの重國先生に登場してもらい鬼の役をしてもらいましたが、本当の鬼のようでした。お母さんやお父さんに見てもらえることができ、楽しく話せて良かったです。

ももたろう古文 Uさん(木葉寮)

僕は今まで学園祭などを親に見てもらえる機会がなかったのですが、ここにきて万博に行かせてもらい、それについて学園祭で発表し、「よかったよ」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。全員の前に立った時は緊張しましたが、今まで練習したことを思い出して落ち着いて発表ができました。そして最後の拍手で鳥肌が立ちました。人の前で発表し、それを称讃してもらえることがどれほど素晴らしいものかが分かりました。

大阪・関西万博 Kさん(さくら寮)

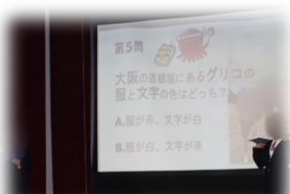


私は英語科発表の練習に最初からいたわけではなく、ほとんど出来上がっている状態でした。体育館練習で初めて2年生の発表を見た時、少し硬い表情もあり、正直不安でしたが、練習を重ねていくにつれて全員が成長していき、私もイントロダクションは台本を見ずに言えるようになり、ステージはみんなが笑顔で終わることができました。ALTの先生から質問があり困惑しましたが、楽しい学園祭になりました。

英語科 Iさん(紅葉寮)

今回の特産物クイズでは、近畿の有名なものを調べてクイズにしました。知っている特産物もあれば知らない特産物もあり、みんなで緊張して片言になったりつまずいたりしたけど、楽しい思い出を作ることができました。来てくれた人もクイズで手を挙げてくれて楽しんでもらっていたので嬉しかったです。

特産物 Sさん(紅葉寮)



近畿児童自立支援施設 駅伝競走大会

11月28日、滋賀県にある希望が丘文化公園で駅伝大会が開催されました。個人種目のロードレースに加え、明石学園からは男子駅伝に3チームが出場しました。約3ヶ月間の思いを今年度明石学園陸上部監督が紹介します。

『ルーキーズ』

皆様こんにちは。男子陸上部監督の角南と申します。監督2年目になりますが、今年は去年に比べ、ランニングはおろかスポーツ経験すらない子が多い年でした。「やりがいがある！」と思いつつも、試走では、ほとんどの児童が思い切りを出せず、悲惨な結果に…。流石ルーキーズ、一筋縄ではいきません。ですが、明石学園には「一丸応援」という起爆剤があります。

大会当日。まずはロードレースです。誰もが経験した辛い持久走だからこそ大人も子どもも本気で応援します。本気で応援されるという初めての経験に背中を押されランナーは力を振り絞ります。その姿を見て、駅伝組の表情も「不安」から「やってやる！」に変わりました。そして、ほとんどの児童が自己ベストを出し、Aチーム4位 Cチーム5位 Bチーム13位という成績を収めることができました。惜しくも入賞とはなりませんでした。可能性を引き出した「ルーキーズ」は進化し、滋賀の地に舞い戻ります。本大会で得た、子どもたち自身の気づきを大切に守っていきたいと思います。

陸上部監督 角南公洋



お知らせ

明石学園の基本理念・方針を兵庫県ホームページに掲載しています。また、『チャボナビ』にて学園の行事や日常の様子も更新しておりますので、下記の QR コードをスマートフォンで読み取っていただきますと、アクセスが可能です。

皆様、ぜひご覧ください。

明石学園にご興味のある方はチャボナビからお問合せください。
心よりお待ちしております。



〈兵庫県 HP 〈チャボナビ〉

【編集より】

本格的な冬の訪れを感じるこの頃。編集後記では12名の学園の大黒柱であるパワフルかあちゃんを紹介します。日々の思いをボールにぶつけるべく立ち上がったかあちゃんたち。11月下旬に行われた近隣地区親善バレー大会で見事2位の成績を残すことができました。2026年もこどもたちに負けずパワフル全開で学園を支えていきたいと思います！



今後とも明石学園をよろしくお願い申し上げます。

(角南 葵)